

# 常任委員会レポート

## 総務産業常任委員会

### 食の未来につなげる

#### オーガニックハウス鳩山 農場視察

6月11日、平成23年12月から業務を開始した「オーガニックハウス鳩山農場」の現地視察を行いました。

当初は「薬糧開発」としてスタートしましたが、平成24年2月に名称変更し、現在に至っています。農場経営面積は3ヘクタール、その他の施設は事務所棟、作業棟、育苗ハウス、生育ハウスなどがあります。



トラクター、バックホウ等の農業機械等を使用し、雇用状況は社員7名、パート15名（町内及び近隣）となっています。

作物は約30種類を生産しており、今期は約9000万円の販売額を目標としています。

「オーガニックハウス鳩山農場」では、わが国の「食の未来」につながる農業のあり方、環境保護も視野に入れた良い農場作りに励んでいます。



取締役の方からは、「将来は、加工・レストランまで運営したい」と抱負を語っていただきました。鳩山町の産業振興の面からも、期待していききたいと思います。

(日坂)

## 福祉文教常任委員会

本委員会は、6月11日所管事務の調査を終了した。

勤チーム」で策定。

チームは8月に立上げて、12月に「整備計画（案）報告書」を町に提出し、それをもとに町は整備計画を策定する。

日程第1 「福祉・健康複合施設整備計画」策定方針（骨子案）について

鳩山町の高齢化は早いスピードで進んでいる。

7年後の2020年に、75才以上の高齢者数は3058人になる見込み。

現在、町内にある特別養護老人ホーム「松寿園」の定員数は100人にとどまり、現在も数十人の入所待機者がいる。

そこで、特に高齢化が著しいニュータウン地域に「福祉・健康複合施設整備計画」を策定、平成29年2月の運用開始を目指す。

旧松栄小学校敷地を活用し、「介護予防事業」を展開できる複合施設とする。

整備計画（案）は、高齢者の公募町民を含む15名の委員で構成する「協

働チーム」で策定。チームは8月に立上げて、12月に「整備計画（案）報告書」を町に提出し、それをもとに町は整備計画を策定する。

特別養護老人ホーム（定員100人）や、介護予防施設（通所リハビリ施設などを含む）を実際に整備するにあたっては、民間事業者の活力が望まれる。そこで、プロポーザル方式などの提案方式により整備法人を決定するが、実施にあたっての公募要綱などについても「協働チーム」で検討いただくこととした。

整備法人の公募は、平成26年4月に実施の予定。

日程第2 「（仮称）子ども・子育て支援計画」の策定及び推進体制について

幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進す

るため、子ども・子育て関連3法が平成24年8月22日公布された。子ども・子育て支援法に基づき給付は

①施設型給付（認定子ども園、幼稚園、保育所を通じた給付）。

②地域型保育給付（小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育）。

なお、両給付は、早朝、夜間、休日保育も対応。町は今後、関連3法に基づき子ども・子育て新システムを実施するため、国の指針に基づき、「子ども・子育て支援事業計画」を平成26年度中に策定。

日程第3 「食」コミニティ会議プロジェクト事業について

健康寿命の延伸・健康格差の延伸を実現するためには、「健康を支え、守るための社会環境の整備が重要となる。そのため地域のつながりの強化」のため、食「ミ」会議を設置して促進に努める。

（稲垣）